

バラの施肥

バラの管理の中で、重要になるのが施肥作業です。

株を大きくするだけでは無く、花の色や葉の色にも大きく影響します。

追肥の期間は年間を通して行います。

4月～6月		7月～8月		9月～12月	
4月	醗酵油かす300g程度	7月～8月	夏場は肥料の吸収が悪いので	9月～1月	醗酵油かす300g程度
5月	醗酵油かす300g程度		散水や液肥を使うのも良い	2月～3月	3月中旬までに土壌改良
6月	醗酵油かす300g程度		8月中旬過ぎに土壌改良		

* 路地植えのバラの施肥です。

通常の施肥は、1株あたり醗酵油かす300g程度を施肥(バラの大きさに寄って施肥量を調整します。)

つるバラ・スタンダードローズは、多少多めに施肥しても良いです。

土壌改良とは、牛フン、醗酵油かす、腐葉土等を施肥し土と混ぜ込みます。土壌回復の効果があります。

* 路地植えのバラの施肥



醗酵油かす (粉末)

施肥の方法

株元から20~30cm程離れた所に

醗酵油かすと土を混ぜ込む方法を行っています

土と混ぜ込むことで、肥料も効果的に効き

固くなった土をほぐし、土の中に空気も入るので良いです。

* 鉢植えのバラの施肥



醗酵油かす (固形)

施肥の方法

株元から離れた所に、固形の油かすを置きます。

1株あたり醗酵油かす8~10粒程度を施肥

(バラ、鉢の大きさに寄って施肥量を調整します。)

肥料の種類は、緩行性の固形肥料であればOKです。

液肥や、アンプルを使うのも良いです。

ご存知ですか？

写真の醗酵油かす(粉末・固形)の肥料分は、約1ヶ月で無くなってしまいま

雨や散水の頻度に寄っては3週間程度で無くなってしまふ事も！

肥料に寄っては、3ヶ月~1年持続する物も・・・

緩行性固形肥料には、持続期間があります。

固形の形が残っていても・・・肥料分はからっぽになっている事も・・・

お持ちの固形肥料の説明書きを読んで、持続期間を知っておいた方が良いでしょう！

例えば！1ヶ月で効果の無くなる肥料なら、

少し早めに(3週間程度たったら)新しい物と交換・施肥しましょう！

(天気や散水の頻度を目安にすると良いでしょう！)

* 肥料分が無くなる前に、施肥してあげてください。

置き肥をすると、油カスに、カビが発生する事があります。

油カスを土に埋めるとカビの発生を抑える事が出来ます。

カビの発生した油カスは取り除きます。

* 錦江湾公園バラ園での作業方法及び作業内容です。

公益財団法人 鹿児島市公園公社